



## 2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年1月12日

上場会社名 株式会社アーコア 上場取引所 名  
 コード番号 3384 URL https://arkcore.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5928)1537  
 四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年2月期第3四半期の業績 (2023年3月1日~2023年11月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	4,527	5.0	359	△1.0	349	△6.8	238	△47.8
2023年2月期第3四半期	4,310	50.7	363	183.4	375	155.8	456	283.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年2月期第3四半期	134.14		126.85					
2023年2月期第3四半期	257.09		245.09					

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	2,569	945	36.7
2023年2月期	2,175	704	32.4

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 944百万円 2023年2月期 703百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年2月期	—	0.00	—		
2024年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年2月期の業績予想 (2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	0.1	197	△35.1	188	△38.3	131	△67.9	73.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年2月期3Q	1,970,000株	2023年2月期	1,970,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年2月期3Q	189,667株	2023年2月期	193,667株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年2月期3Q	1,777,453株	2023年2月期3Q	1,776,333株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、2023年7—9月期の四半期別実質GDP成長率が減少し、3四半期ぶりのマイナスとなりました。しかし企業収益は、総じてみれば改善しており、雇用情勢も改善の動きが見られています。個人消費は持ち直しており、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、ゆるやかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

当社の事業セグメントは、バイク事業及びフィットネス事業となっております。当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (バイク事業)

コロナ禍に端を発したバイクブームはコロナ禍の収束に伴いやや落ち着きを見せてきております。それにより、バイクメーカーによる生産の状況についても、これまで人気車種についてはユーザーが待ちきれないような長い納期であったものが徐々に解消しつつあります。

その結果、高年式、良質な中古バイクの業者間オークションでの落札価格もゆるやかに下降傾向となっていることから、当社のオークション売却における売却単価、粗利単価もやや下降傾向となっており、また直販センター2店舗の販売台数も減少傾向にあります。また同様の理由で主に乗り換えが減ったことに起因する買取需要の減少が発生していると思われ、その状況下で買取台数の維持を図っているため、買取1台当たりの広告費単価が上昇傾向になっております。

ただし上述の状況が発生しはじめたのは第2四半期会計期間の途中からであり、かつ進み方もゆるやかであります。第3四半期会計期間以降も落札価格が継続して下降するリスクを回避するために、第2四半期会計期間に商品在庫の圧縮を実行した結果、売上高は増加しました。

バイク事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高4,194百万円（前年同期比10.5%増）、セグメント利益307百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

#### (フィットネス事業)

当事業におけるエンタイムフィットネスは前第3四半期累計期間末時点では5店舗を運営しておりましたが、当第3四半期累計期間末時点では4店舗となっております。ステップゴルフは2店舗で増減はありません。

当第3四半期累計期間末でのエンタイムフィットネスの月平均会員数は前年同期比1.9%減少し、ステップゴルフの会員数は同10.4%減少しました。

フィットネス事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高332百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益52百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は売上高4,527百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益359百万円（前年同期比1.0%減）、経常利益349百万円（前年同期比6.8%減）、四半期純利益238百万円（前年同期比47.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態の状況

#### (資産)

当第3四半期会計期間末において総資産は2,569百万円となり、前事業年度末と比較して394百万円増加しました。主な要因としては、現金及び預金が644百万円増加し、商品が188百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末において負債は1,624百万円となり、前事業年度末と比較して153百万円増加しました。主な要因としては、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が187百万円増加し、1年内償還予定の社債を含む社債が32百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末において純資産は945百万円となり、前事業年度末と比較して240百万円増加しました。これは、四半期純利益238百万円を計上したことによるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末の現金及び現金同等物は1,740百万円(前年同期は1,026百万円)となっております。当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は483百万円(前年同期は得られた資金253百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては税引前四半期純利益349百万円及び棚卸資産の減少額188百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は12百万円(前年同期は得られた資金17百万円)となりました。主な要因は、差入保証金の回収による収入24百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は147百万円(前年同期は得られた資金13百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては長期借入れによる収入300百万円、社債の発行による収入98百万円、支出した資金としては長期借入金の返済による支出112百万円、社債の償還による支出132百万円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の通期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間における業績の進捗状況及び直近の営業活動の状況を踏まえて、本日付けで売上高の修正を行っております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,107,436	1,751,907
売掛金	46,210	46,897
商品	729,538	540,708
貯蔵品	2,909	3,538
前払費用	27,578	20,476
その他	16,296	13,745
流動資産合計	1,929,969	2,377,273
固定資産		
有形固定資産	129,441	114,834
無形固定資産	6,033	4,230
投資その他の資産	109,690	73,184
固定資産合計	245,165	192,249
資産合計	2,175,135	2,569,523
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,157	14,462
1年内償還予定の社債	202,000	222,000
1年内返済予定の長期借入金	126,046	184,488
未払法人税等	83,501	58,296
賞与引当金	27,310	5,039
その他	160,250	221,584
流動負債合計	623,265	705,870
固定負債		
社債	442,000	390,000
長期借入金	396,065	525,621
その他	8,973	2,783
固定負債合計	847,038	918,404
負債合計	1,470,303	1,624,274
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	266,598	267,069
利益剰余金	278,266	516,687
自己株式	△73,858	△72,333
株主資本合計	703,831	944,248
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	704,831	945,248
負債純資産合計	2,175,135	2,569,523

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年3月1日 至2022年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)
売上高	4,310,748	4,527,094
売上原価	2,518,594	2,813,816
売上総利益	1,792,153	1,713,278
販売費及び一般管理費	1,428,952	1,353,585
営業利益	363,201	359,693
営業外収益		
受取手数料	2,104	3,864
助成金収入	18,576	—
その他	3,720	274
営業外収益合計	24,401	4,139
営業外費用		
支払利息	7,094	7,846
社債利息	2,515	3,899
社債発行費	1,409	1,909
その他	1,217	241
営業外費用合計	12,237	13,897
経常利益	375,364	349,935
特別利益		
受取補償金	206,500	—
固定資産売却益	13,137	—
特別利益合計	219,637	—
特別損失		
減損損失	21,976	—
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	21,976	—
税引前四半期純利益	573,025	349,935
法人税、住民税及び事業税	120,632	100,245
法人税等調整額	△4,281	11,268
法人税等合計	116,351	111,514
四半期純利益	456,673	238,420

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	573,025	349,935
減価償却費	32,750	26,883
減損損失	21,976	—
株式報酬費用	12,503	7,189
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,093	△22,271
受取利息及び受取配当金	△26	△247
助成金収入	△18,576	—
支払利息	7,094	7,846
社債利息	2,515	3,899
社債発行費	1,409	1,909
有形固定資産売却損益(△は益)	△13,137	—
有形固定資産除却損	0	—
受取補償金	△206,500	—
売上債権の増減額(△は増加)	△74,135	△686
棚卸資産の増減額(△は増加)	△182,461	188,200
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,060	△9,695
その他の流動資産の増減額(△は増加)	15,929	9,835
その他の流動負債の増減額(△は減少)	65,599	61,388
その他	△2,333	△7,176
小計	216,480	617,011
利息及び配当金の受取額	3	218
利息の支払額	△9,620	△12,342
法人税等の支払額	△50,650	△121,704
補償金の受取額	60,000	—
助成金の受取額	37,197	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	253,408	483,181
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,350	△1,350
有形固定資産の取得による支出	△17,117	△10,561
有形固定資産の売却による収入	13,186	—
無形固定資産の取得による支出	△212	—
差入保証金の差入による支出	—	△30
差入保証金の回収による収入	22,666	24,114
出資金の払込による支出	—	△209
貸付けによる支出	—	△1,000
貸付金の回収による収入	60	1,132
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,232	12,095
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	230,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△210,552	△112,002
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,610	△4,995
社債の発行による収入	98,590	98,090
社債の償還による支出	△96,000	△132,000
割賦債務の返済による支出	△3,859	△1,249
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,568	147,843
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	284,209	643,120
現金及び現金同等物の期首残高	742,403	1,097,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,026,613	1,740,956



## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第3四半期累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27—2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)2	合計(注)1
	バイク事業	フィットネス事業	計		
売上高	3,797,074	342,336	4,139,411	171,337	4,310,748
セグメント利益又はセグメント損失(△)	404,696	50,112	454,808	△91,607	363,201

(注) 1 「セグメント利益又はセグメント損失(△)」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 「その他」は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業を含んでおります。

当第3四半期累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計(注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	4,194,516	332,578	4,527,094
セグメント利益	307,666	52,027	359,693

(注) 「セグメント利益」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前事業年度において飲食事業を廃止したことに伴い、第1四半期累計期間より「飲食事業」セグメントを廃止しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。